

SAPIX		6年							
		算数							
学習内容		7月の学習内容 18回 速さ 19回 平面図形総合 20回 ニュートン算 夏期講習1回 数の性質 (1) 2回 和と差に関する問題 3回 割合 (1) 4回 平面図形 (1) 5回 速さ (1) 6回 規則性 7回 場合の数 (1)							
家庭学習 ポイント		7月は18回～20回の学習を終え、下旬からは夏期講習に入ります。それぞれの回が「総合回」というイメージで、1回の授業で扱う内容が膨大です。18回「速さ」19回「平面図形総合」20回「ニュートン算」とも、1回の授業で「その単元のすべてを習う」という内容です。18回「速さ」では逆比を利用する問題から2地点間の距離を求める問題、地中で休む問題、時計算などまで様々です。また19回「平面図形総合」では角度、折り返し、おうぎ形によるさまざまな图形、様々な面積比の問題、街灯による影の問題など、入試頻出の問題パターンを数多く復習します。20回「ニュートン算」自体、問題のバリエーションはそう多くないので、すべて網羅していると言ってもいいでしょう。夏期講習に入ってもこの構成は変わらず、夏を通してすべての学習単元をもう一度総復習していく内容となっています。1ヶ月あまり、14回の授業でこれまでの学習内容をすべて網羅するので、1回の内容は膨大になります。優先順をつけて学習していくことが必要です。							
課題の把握 と解決 策	チェック1	速さの問題では逆比を使いこなしていますか？	チェック						
	解決策	速さで比を使って考えるというのは、ほぼ「前提」と言っていいでしょう	<input type="checkbox"/>						
	チェック2	時計算の「÷5.5」の意味を正しく説明できますか？	チェック						
	解決策	公式として闇雲に使うのではなく「1分あたりの分針と秒針の進む角度の差」と思い出そう	<input type="checkbox"/>						
	チェック3	ニュートン算の考え方方が「腑に落ちて」いますか？	チェック						
	解決策	これまでニュートン算を「なんとなく」解いてきているなら20回で理解を深めましょう	<input type="checkbox"/>						
	チェック4	夏期講習は「算数の全単元を総復習」であることを理解していますか？	チェック						
	解決策	復習のサイクルは非常に過酷です。授業で完全理解するつもりで臨みましょう	<input type="checkbox"/>						
	チェック5	夏休みと夏期講習のスケジュールを詳細に把握していますか？	チェック						
	解決策	夏休みが始まってから夏期講習が始まるまでの数日間などを上手に利用して復習しましょう	<input type="checkbox"/>						
SAPIX		6年							
		国語							
学習内容		7月の学習内容 18回 文章テーマ／物語文07 ふしぎな話 物語文 19回 文章テーマ／論説文08 言葉について考える 論説文 20回 文章テーマ／物語文08 あいつは転校生 物語文 夏期講習1回 論説文 2回 論説文 3回 物語文 4回 物語文 5回 物語文 6回 論説文 7回 物語文 8回 物語文							
家庭学習 ポイント		第18回の文章テーマは「ふしぎな話」です。記号選択問題について正解か不正解かを見分けるポイントについて学びます。①人物の誤り ②因果関係の誤り ③程度の誤り ④時間の流れの誤り ⑤傍線部の内容との不一致 ⑥常識的には正しいけれど…⑦細部の誤りの7つのパターンが示されていますが、実際に問題を解きながらどれに当てはまっているのかをしっかり考えていくようにしましょう。第19回の文章テーマは「言葉について考える」です。論説文の読解になりますが、ポイントは文章の構造に注目して答えの場所の見当をつけることです。論説文でよく見られる文章構造として ①問い合わせた答え ②対比 ③具体例とまとめ の3つが挙げられています。今回の問題を例に説明されていますので、よく読んで実践に生かせるようにしておきましょう。夏季講習に入ると、復習のサイクルが普段の3倍程度のスピードになります。意識的に授業時に集中し、理解度を上げる努力をしましょう。							
課題の把握 と解決 策	チェック1	選択肢の問題を「なんとなく」で答えていますか？	チェック						
	解決策	第18回で学んだ技術を実践に生かすようにしましょう	<input type="checkbox"/>						
	チェック2	文章の構造を意識して論説文を読んでいますか？	チェック						
	解決策	第19回で出てきた3つのポイントを意識するだけでも内容をかなり詳細に把握できます	<input type="checkbox"/>						
	チェック3	B授業の記述部分が空白だらけになっていますか？	チェック						
	解決策	記述は「とりあえず書く」ことが重要ですが「手がかりは？」の部分もしっかりと書きましょう	<input type="checkbox"/>						
	チェック4	夏期講習では復習のサイクルが普段より速くなる事を理解していますか？	チェック						
	解決策	家でじっくり理解すると言ふことが難しくなるので授業の集中度をアップさせましょう	<input type="checkbox"/>						
	チェック5	語彙を増やすための努力をコツコツと続けていますか？	チェック						
	解決策	読解の基礎となるのは語彙の多さです。少ないを感じているなら夏休み前から暗記を開始しましょう	<input type="checkbox"/>						

SAPIX									
学習内容									
家庭学習 ポイント									
	「天気の変化」「溶解度」「物体の運動」を学習し、夏期講習会に入ります。「天気の変化」は覚えることが中心の単元です。日本をとりまく4つの気団と四季の変化の関連性を理解することがポイントです。雲の名前は「積乱雲」（入道雲）「乱層雲」（雨雲）「巻雲」は必須、できれば「いわし雲」「うろこ雲」といった雲についても正式名が答えられるようにしておくことが重要です。「溶解度」は小数第2位～3位の計算がどんどん出てくる単元です。内容自体はそう難しくないのですが、計算ミスを連発すると答えが合わず、モチベーションが下がったり苦手意識を持ってしまいがちです。6年生の夏休み前にしっかり苦手意識を払拭しておくことが大切です。「物体の運動」はふりことおもりの運動についてです。ふりこの長さと周期の関係はしっかり押さえておきましょう。夏休みに入り夏期講習が始まると、1回の授業で扱う内容がさらに多くなり、復習にサイクルもふだんに比べて早くになります。集中して授業を受ける事はもちろん、授業でわかったところ、わからなかったところをしっかり把握しておくことが大切です。								
課題の把握と解決策	チェック1	日本を取り囲む4つの気団とその性質について正しく説明できますか？	チェック						
	解決策	乾燥・湿潤と温暖・寒冷の2つの切り口で覚えておくと良いでしょう	<input type="checkbox"/>						
	チェック2	溶解度計算でミスを連発していませんか？	チェック						
	解決策	とにかく「1問を解ききるまでの集中」を意識しましょう	<input type="checkbox"/>						
	チェック3	ふりこの長さと周期の関係について正しく説明できますか？	チェック						
	解決策	長さ2×2倍で周期2倍、長さ3×3倍で周期3倍、ですね	<input type="checkbox"/>						
	チェック4	夏期講習では復習のサイクルが普段より速くなる事を理解していますか？	チェック						
	解決策	家でじっくり理解すると言うことが難しくなるので授業の集中度をアップさせましょう	<input type="checkbox"/>						
	チェック5	夏期講習が始まるまでにやっておくべきことが具体的になっていますか？	チェック						
	解決策	苦手分野のテコ入れや暗記などできることをすぐにでも始めましょう	<input type="checkbox"/>						
浜学園									
学習内容									
家庭学習 ポイント									
	No.18 「世界の地理」に続き、No.19 「国際連合～その仕組みと役割～」、No.20 「現代社会の諸問題②～世界～」、No.21 「現代の日本と世界(問題演習)」を学習した後、夏期講習に入ります。夏期講習の冒頭4回は地理の復習です。18回「世界の地理」は、本来中学受験の範囲ではありません。世界地理に関する知識が求められる学校を受験される場合は、非常に重要な内容と言えます。また近年は日本との（貿易など）関係において世界の地理をある程度理解していないと解きづらい問題も多く出題されるようになっています。19回の国際連合は、模試にも入試にも頻出の単元です。しっかり覚えるべきことを覚えている状態にしておくことが大切です。夏期講習は他教科同様、復習のサイクルがふだんの2倍程度になります。また1回の授業で扱うないようも非常に多くなっていますので、まずは夏休みが始まるまでにコアプラスの地理部分を一巡回しておくなど、準備をしてから臨みましょう。また7月の組分けテスト対策の意味でも、歴史・公民分野の復習をしておくとよいでしょう。								
課題の把握と解決策	チェック1	自分の志望校がどのような問題を出す傾向があるか把握できていますか？	チェック						
	解決策	そろそろ過去問を購入し「出題傾向」を見てみましょう	<input type="checkbox"/>						
	チェック2	国連のはたらきや仕組みを正しく理解していますか？	チェック						
	解決策	時事問題と関連してよく出題されます	<input type="checkbox"/>						
	チェック3	冷戦や核兵器の問題を、今の時代と関連させて理解していますか？	チェック						
	解決策	ふだんのニュース、サピックスの「じじもんスクラム」なども参考にしましょう	<input type="checkbox"/>						
	チェック4	夏期講習では復習のサイクルが普段より速くなる事を理解していますか？	チェック						
	解決策	家でじっくり理解すると言うことが難しくなるので授業の集中度をアップさせましょう	<input type="checkbox"/>						
	チェック5	夏期講習が始まるまでにやっておくべきことが具体的になっていますか？	チェック						
	解決策	地理の復習、歴史（近代～現代）、公民分野の復習は7月組分けテスト対策にもなります	<input type="checkbox"/>						